

第 145 回エイズ動向委員会

委員長コメント

《平成 28 年第 1 四半期》

【概要】

1. 今回の報告期間は平成 27 年 12 月 28 日～平成 28 年 3 月 27 日までの約 3 か月
2. 新規 HIV 感染者報告数は 250 件 (前回報告 266 件、前年同時期 221 件)  
そのうち男性 231 件、女性 19 件で、男性は前回 (253 件) より減少し、前年同時期 (203 件) より増加、女性は前回 (13 件) より増加、前年同時期 (18 件) より増加
3. 新規 AIDS 患者報告数は 102 件 (前回報告 102 件、前年同時期 100 件)  
そのうち男性 99 件、女性 3 件で、男性は前回 (98 件) より増加、前年同時期 (94 件) より増加、女性は前回 (4 件) より減少、前年同時期 (6 件) より減少
4. HIV 感染者と AIDS 患者を合わせた新規報告数は 352 件

【感染経路・年齢等の動向】

1. 新規 HIV 感染者：
  - 同性間性的接触によるものが 167 件 (全 HIV 感染者報告数の約 67%)
  - 異性間性的接触によるものが 60 件 (全 HIV 感染者報告数の 24%)  
そのうち男性 43 件、女性 17 件
  - 静注薬物によるものは 0 件
  - 母子感染によるものは 0 件
  - 年齢別では、20～30 代が多い。
2. 新規 AIDS 患者：
  - 同性間性的接触によるものが 54 件 (全 AIDS 患者報告数の約 53%)
  - 異性間性的接触によるものが 25 件 (全 AIDS 患者報告数の約 25%)  
そのうち男性 22 件、女性 3 件
  - 静注薬物によるものは 0 件
  - 母子感染によるものは 0 件
  - 年齢別では、30～40 代が多い。

【検査・相談件数の概況 (平成 28 年 1 月～3 月)】

1. 保健所における HIV 抗体検査件数 (確定値) は 22,533 件  
(前回報告確定値 26,783 件、前年同時期確定値 23,881 件)  
自治体が実施する保健所以外の検査件数 (確定値) は 7,170 件  
(前回報告確定値 8,457 件、前年同時期確定値 7,667 件)
2. 保健所等における相談件数 (確定値) は 30,253 件  
(前回報告確定値 35,235 件、前年同時期確定値 32,791 件)

【献血の概況 (平成 28 年 1 月～3 月)】

1. 献血件数は、1,220,688 件 (前年同時期 1,246,253 件)
2. そのうち HIV 抗体・核酸増幅検査陽性件数 (速報値) は 8 件 (前年同時期 15 件)  
10 万件当たりの陽性件数 (速報値) は、0.655 件 (前年同時期 1.204 件)

## 《まとめ》

1. 新規H I V感染者報告数は前回に比し減少したが、前年同時期と比較すると増加した。また、新規A I D S患者報告数は前回と同数であったが、前年同時期より増加していた。
2. 新規H I V感染者は20～30代、新規A I D S患者は30～40代で報告数が多いが、いずれも20～70代までの幅広い年齢層において報告が認められた。性別・年齢を問わず、H I Vに感染する可能性がある。適切な予防策により感染を予防することが可能であり、また重要である。
3. 保健所等におけるH I V抗体検査件数及び相談件数は前回、前年同時期に比して減少した。早期発見は個人においては早期治療、社会においては感染の拡大防止に結びつくため、今後保健所等の無料・匿名H I V抗体検査及び相談を積極的に利用していただきたい。